

入場無料

2021年7月17日(土)

WEB
同時配信

北海道大学
総合博物館

バイオミメティクス
市民セミナー

公立千歳科学技術大学

オープンサイエンス

パーク千歳

共同開催
特別シリーズ

支笏湖から考える

～生態系サービスがもたらす持続可能な社会～

第4回：情報科学が支える支笏湖観光

今、アフターコロナ・ウィズコロナ時代の自然共生と持続可能な社会のありかたが問われています。

本シリーズでは、北海道民にとって身近な自然である

支笏湖に着目することで、

生物多様性と地勢の複雑な

ネットワークを基盤とする生態系が

もたらす「恩恵と脅威」、その「開発と

保全」、さらには「日常と非日常」の

視点を通じて支笏湖の温故知新を図り、

様々なステークホルダーとともに「生態系サービスが

もたらす持続可能な

社会」について

考える対話（トラン

スサイエンス）の

場を設けることに

しました。

特別シリーズ4回目は、

三次産業への生態系サービス

である観光に着目し、

情報科学が支える観光の将来を

考えてみることにしました。今般は、公立千歳科学技術大学の

地域密着研究「スマート・ネイチャー・シティちとせ」の紹介を

皮切りに、最新の情報技術を駆使した鏡面発生予測に向けた産学の

とり組み、そしてアフター・

コロナの支笏湖観光のありかた

について考えます。

本シリーズでは、コロナ世情を

勘案し、対面式講演と

ウェブ同時配信を行います。

13:30-14:00 支笏湖ビジターセンターから

公立千歳科学技術大学の地域連携事業

『スマート・ネイチャー・シティちとせ』について



公立千歳科学技術大学・教授・地域連携センター長

山林 由明

14:00-14:10

地域密着型研究パネル展

“2020年度「スマート・ネイチャー・シティちとせ」事業”の紹介

14:10-14:40 北大総合博物館から

情報技術を活用した支笏湖の魅力発信

～ディープラーニング技術による支笏湖鏡面の発生検知～

奥野 修敬

ソフトバンク株式会社北海道IoT技術部・担当課長

14:40-15:00

北大博物館と支笏湖会場と結んでの意見交換



15:00-15:30

“アフター・コロナの支笏湖観光”について

川崎 孝利

休暇村支笏湖・支配人



会場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)

札幌市北区北10条西8丁目

支笏湖ビジターセンター

千歳市支笏湖温泉

時間：午後1時30分から午後3時30分

現地開催(先着45名) および ウェブ同時配信 併用の
ハイブリッド方式での開催となります

<https://chitose.town/course/view.php?id=5>

<https://youtu.be/ZCWVGYBYaRU>

主催：北海道大学総合博物館

バイオミメティクス市民セミナー

公立千歳科学技術大学地域連携センター

(オープンサイエンスパーク千歳、支笏湖デザインプロジェクト)

共催：高分子学会北海道支部

高分子学会バイオミメティクス研究会

フォトニクスワールドコンソーシアム

NPO法人バイオミメティクス推進協議会

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029

E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

